

<今日の説教のポイント マタイによる福音書5章43～48節>
はじめに ユーモアを感じさせる主イエスのお言葉。

1 聖書はここでどんなことを言っているのか。

「隣人を愛しなさい」、これは旧約聖書の戒め。

「敵を憎め」というのはその戒めの律法学者による解釈。

「敵を愛しなさい」は、律法学者の解釈に反対する主イエスの新しい解釈。

その根拠は、天の父なる神が「隣人」の中に「敵」をも含んでおられるから。

2 聖書に書いてある通り「敵を愛する」とどうなるか。

戦争中に教会が「敵を愛しなさい」と説教したら受け入れられず、孤立せざるを得ない。

「敵を愛しなさい」という教えは限界をもった教えなのか。

孤立し、迫害される中で、「迫害する者のために祈る」

主イエスを迫害したパウロのために祈られた主イエスの祈りはパウロを回心へと導いた。

3 聖書が語る主イエスの教えを国と国の戦争に適用することは可能か。

「敵を愛する」という教えは、この世界の現実の中では実現できない、異なる次元でしか意味を持たない教えなのだろうか。

国と国の戦争において、「敵を愛する」とは、どういうことか、どのようにそれは実現可能か。

侵略してくる占領軍に白旗を掲げて抵抗しない。

戦争、暴力、侵略という悪は憎むが、敵は愛する。